



## 令和2年度学校運営方針

県立村上中等教育学校長  
吉井 裕也

### I 校長として目指している学校像

- 1 全教職員が各自のキャリアに基づく指導力を遺憾なく発揮し、協働して6年間を見通した教育計画を実践する学校
- 2 生徒が将来を力強く切り拓くための資質・能力を身に付ける場として「授業」を捉え、全校を挙げて授業改善に取り組む学校
- 3 清潔で落ち着いた学習環境の下、すべての生徒が安心して過ごし、自らの成長を実感することのできる学校

### II 目標を実現するために必要な教師像

- 1 観察力・想像力・コミュニケーション能力に富み、生徒・保護者との関係を大切にする教師
- 2 自らに課せられた責務を自覚し、組織目標達成に向けて全力で取り組む教師

### III 当校の特色ある取組

- 1 6年間を見通した指導計画に基づくキャリア教育の実施
  - ・ブリティッシュヒルズ修学旅行、職場体験、小学校での英語指導体験、オーストラリア海外研修旅行等、生徒の発達段階に応じた多彩な体験型学習の実施
  - ・生徒・保護者のニーズを踏まえた、チューター講座、合格体験を聞く会、保護者対象進路説明会等、手作りの企画の実施
- 2 N I E 実践研究を活用した探究的な学習の実施
  - ・N I E（新聞活用教育）の計画的実施による「課題研究」の充実
- 3 地域活性化の拠点としてのスクール・アイデンティティ
  - ・瀬波巡検、町屋の人形さま巡り、地域振興策の行政等への提案等、地域理解・地域活性化に係る学習活動の実施

### IV 令和2年度の重点目標

- 1 県教育委員会の方針に則った「働き方改革」の推進
  - (1) 時間外の勤務時間を1か月45時間以内にする。
  - (2) 時間外の勤務時間を1年間360時間以内にする。
  - (3) クラス経営、教科指導に係る業務を優先することで目標達成を図る。
- 2 進学実績の向上
  - (1) 14期生の進学目標は、以下の3点。
    - ① 国立大学合格者数30名以上
    - ② 国公立大学進学者数35名以上
    - ③ 難関国立大学進学者数9名以上
  - (2) 6年間一貫教育の「強み」を生かし、今後5年間のうちに以下の目標を達成する。
    - ① 国公立大学進学者60%以上
    - ② ①のうち、東京大学2名以上あるいは医学部医学科2名以上
- 3 安全・安心な教育環境の整備
  - (1) 生徒支援委員会を中心として、いじめ防止対策の強化、教育相談の充実を図る。
  - (2) 「学校いじめ防止基本方針」に示した対応を全職員が遵守する。